

- ★ TOPICS
- ★ 質問コーナー
- ★ 臨床栄養部監修レシピ紹介
- ★ リレーエッセイ
- ★ 執行部より

前田病院長

★TOPICS★

岡山大学病院にECMOを搭載できる大型救急搬送車「ドクターカー」を配備しました

8月31日、人工心肺装置「ECMO（エクモ）」を搭載できる大型の救急搬送車「ドクターカー」を配備しました。重症呼吸不全などの患者が発生した場合ECMO装着を行った状態でドクターカーでの広域搬送が可能となります。このたびに配備したドクターカーは、医師や看護師、臨床工学技士などの医療従事者が乗り込み活動を行います。一般の救急車よりも車内が広く、ECMOなどの高度医療機器を用いた重症患者さんの搬送に使用することが可能です。2022年度からの本格的な導入を目指して、岡山県内と近隣県で重症患者が発生した場合に、広域搬送ができるよう体制を構築していきます。

車体外観の装飾は、岡山大学病院の職員による広報チーム「岡大病院“Face”活性化ミーティング」メンバーの本多寛之医師（総合内科・総合診療科）のデザインで、波のような曲線は船舶の航走波をイメージしており、ドクターカーがスピーディーに移動する様子を表しています。

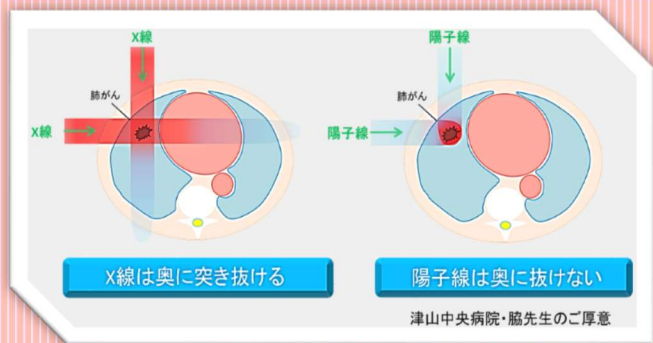


ひと口メモ：ドクターカーの前方の文字が反転しているのはなぜ？と思った方はいらっしゃいませんか。ドクターカーが後方から近付いてきた際に、自分が乗っている車のバックミラーやサイドミラー越しに見たときに鏡文字にならないように反転しています。現在走っている多くの救急車でも、採用されていますので、みかけたら、注意して見てみてくださいね！

★ 質問コーナー ★



「陽子線治療とはどんなものですか？」



陽子線治療は放射線治療の一種です。中四国唯一の治療施設である津山中央病院と連携し、治療をしています。X線と違い、陽子線では狙った深さにエネルギーのピークがきた後に、ぴたりと止まります（図）。どちらが周囲組織へのダメージが少ないか容易に想像できますよね。保険適用があるのは小児腫瘍、一部の頭頸部がん、前立腺がん、骨軟部腫瘍ですが、先進医療として多くの疾患を治療可能です。特に小児腫瘍では後々の有害事象を低減できることから、選ばれることが増えています。陽子線治療が身近な選択肢として存在することを覚えておいていただきたいと思います。

放射線科 吉尾 浩太郎

「がんのつらい痛みに対処する方法はありますか？」

多くのがん患者さんは治療中にも痛みを感じており、痛みのために仕事や日常生活に困難を感じたり、気分が減ったり、十分な治療が受けられなくなる方もおられます。がんの痛みは我慢しないことが大切です。原因に応じて鎮痛剤、放射線、化学療法などで緩和することができます。お薬の中心となるのは医療用麻薬と呼ばれるものです。麻薬と聞くと「依存する」「最後に使う薬」などの怖い印象を持たれる方も多いですが、現在は種類も増え、医師の指示のもと適切に使用することで多くの方が痛みから解放され、日常生活やがん治療をストレスなくできるようになります。ぜひ緩和ケアチームへご相談ください。

緩和支援医療科 松岡 順治





秋野菜のミネストローネ



秋の味覚を楽しむレシピです。さつまいも・しめじが入ったボリュームのある野菜スープです。さつまいもには、熱で壊れにくく、抗酸化作用のあるビタミンCが多く含まれています。また、さつまいも・しめじに含まれている食物繊維は、大腸の動きを活発にし、便秘の解消に効果があり、免疫力を高めると言われています。免疫力をあげて夏の疲れをとりましょう。

エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	食塩相当量
184kcal	7.8g	8.3g	21.3g	3.5g	1.2g

材料(2人分)

玉ねぎ	50 g	(1/4個)	
にんじん	30 g	(1/4本)	
サツマイモ	50 g	(1/4本)	
しめじ	60 g	(1/2株)	
トマト	50 g	(1/4個)	
鶏もも肉 (皮つき)	60 g		
オリーブオイル	小さじ1		
パセリのみじん切り	少々		
[A] 水	1/2カップ		
トマトジュース (無塩)	1カップ (200ml)		
固形コンソメ (チキン)	1個		
砂糖	小さじ1		

★作り方★

- ① 鶏肉は一口大に切り、玉ねぎ、にんじん、トマト、サツマイモ (皮つき) は1cm角に切る。サツマイモは、水にさらして水気をきる。しめじは石突きを切り、小房に分ける。(トマトの皮が気になるようなら湯むきする)
- ② 鍋にオリーブオイルを熱し、鶏肉・玉ねぎ・にんじん・サツマイモ・しめじを入れて炒め、【A】をいれて強火にかけ、煮立ったらトマトを加え、弱火にして野菜が柔らかくなるまで煮る。
- ③ 器に盛り、お好みでパセリを散らす。

リレーエッセイ



4月から総合リハビリテーション部士長を拝命しました。スタッフは、医師4名、理学療法士28名、作業療法士7名、言語聴覚士4名、看護師1名と大所帯ですが、みんな明るく、仲がいいのが自慢です！ほぼ全診療科からリハ依頼があり、各部署との連携も大事にしております。気軽にリハスタッフに声をかけてください。職員一丸となって、高度な医療を提供できる職場づくりを目指して頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

総合リハビリテーション部 士長 岡佳純



増山 寿 副病院長の「最近嬉しかったこと」



医局のカンファレンスが終わるとき、突然前に出てくださいと言われ、なんのことか分からずにいると、なんと誕生日を祝ってくれました。いつの頃からか、自分の誕生日は忘れるようになりましたが、やっぱり嬉しいものです。産婦人科医を目指して研修してくれている若い先生に囲まれて、一緒に仕事ができる立場のありがたさを改めて感じる事ができました。彼ら彼女らは、秋から関連病院での後期研修へと羽ばたき2年後に戻ってきます。成長を楽しみに、自分自身も負けずに進歩しなければと気持ちを新たにしました。



浅海 淳一 副病院長の「夏の思い出」



夏といえば思い出すのは南米のことです。教授になって間もない2009年夏の1か月程度、客員教授としてサンパウロに滞在しました。それを機にその後10年間で南米を15回訪れています。南米を訪れるのは主に夏でした。それは日本の夏が南米の冬で一番過ごしやすい季節だったからです。ブラジル、アルゼンチン、ベネズエラ、コロンビア、ペルー、チリを訪問しています。仕事の合間を縫ってイグアスの滝、マチュピチュ、イースター島などで楽しいひと時を過ごしました。今は新型コロナウイルスの影響で制限されていますが、来年の夏には再び訪問できることを期待しています。

マチュピチュ



イグアスの滝

